

6. 次世代基準クリア！ でも、地域によって燃費は大幅な違い 仕様は一律ではいけない

表1

熱損失係数 Q2.38		開口部仕様 アルミ+PVC 一般ペアガラス	
建設地	年間暖房 灯油消費 量 <sup>リットル</sup>	最小比	
1 青森	1,337	179%	
2 一関	1,110	148%	
3 秋田	1,144	153%	
4 本荘	1,202	160%	
5 仙台	749	100%	
6 酒田	981	131%	
7 山形	1,122	150%	
8 福島	852	114%	
9 郡山	886	118%	
10 会津若松	1,191	159%	

表2

開口部 アルミ+PVC LOW-Eペア	
年間暖房 灯油消費 量 <sup>リットル</sup>	
1,314	98%
1,112	100%
1,134	99%
1,178	98%
784	105%
973	99%
1,120	100%
865	102%
914	103%
1,180	99%

表3

開口部 アルミ+PVC 遮熱LOW-Eペア	
年間暖房 灯油消費 量 <sup>リットル</sup>	
1,485	111%
1,304	117%
1,303	114%
1,327	110%
997	133%
1,125	115%
1,302	116%
1,041	122%
1,127	127%
1,354	114%

表4

都市		南面 一般ペア+断熱 戸 他 LOW-Eペア	
	年間暖房 灯油消 量		
1 青森	1,125	84%	
2 一関	919	83%	
3 秋田	956	84%	
4 本荘	1,010	84%	
5 仙台	598	80%	
6 酒田	814	83%	
7 山形	933	83%	
8 福島	696	82%	
9 郡山	718	81%	
10 会津若松	996	84%	

表5

Q1.0住宅標準的仕様 断熱強化 熱交換換気 開口部強化	
年間暖房 灯油消 量	
483	36%
351	32%
389	34%
430	36%
229	31%
317	32%
366	33%
239	28%
229	25%
407	34%

●表1は東北地区のⅢ地域10都市。いわゆるⅢ地域の標準仕様で仙台に建てたとして、同一仕様の住宅を各Ⅲ地域に当てはめたら一体どれだけの暖房エネルギーになるか。仙台を100にすると青森179、秋田153他山形、会津若松も150以上になる。同じⅢ地域だからといって同一仕様でいいわけがない。●表2は開口部のガラスだけLOW-Eペアガラスに変えた場合。日射量が多い地域だけ暖房量が減らない。どちらが使用エネが微妙な地域だ●表3はすべて遮熱LOW-Eペアガラスに変えた場合。全地域暖房エネルギーは増加する。適材適所の使い方になっていないからだ。●表4は開口部だけの工夫で20%減らせるという例。●そして表5Q1.0仕様にする(詳細はQ1.0コーナーで)ほぼ1/3以下、福島は1/4に減少する。●表6では、その住宅を関東更新北陸に当てはめた。Q1.0仕様ぐらいにするともう暖房エネルギーはわずかな数字になる。

表6

都市	開口部 アルミ+PV C 一般ペア	開口部 同左サッシ + LOW-Eペア			開口部 同左サッシ + 遮熱LOW-Eペア			南面 一般ペア+断熱戸 他 LOW-Eペア		Q1.0住宅 標準的仕様 断熱強化 熱交換換気 開口部強化	
5 仙台	749	784	105%	997	133%	598	80%	229	31%		
11 水戸	633	663	105%	846	134%	503	79%	136	21%		
12 前橋	599	625	104%	794	133%	476	79%	129	22%		
13 宇都宮	721	739	102%	909	126%	583	81%	184	26%		
14 甲府	587	616	105%	787	134%	466	79%	125	21%		
15 長野	1,009	1,028	102%	1,240	123%	827	82%	290	29%		
16 松本	997	1,022	103%	1,245	125%	814	82%	277	28%		
17 新潟	910	898	99%	1,031	113%	757	83%	299	33%		
18 富山	811	809	100%	947	117%	669	82%	249	31%		
19 金沢	754	747	99%	866	115%	623	83%	234	31%		
20 福井	801	800	100%	936	117%	661	83%	245	31%		